

情報名:標準補修塗装マニュアル 上塗り編

工程	作業内容	使用材料																																								
1	<p>ソリッド塗装</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調合は、計量器を用いて正確に調合してください。 ・各塗料は、専用の硬化剤・シンナーを使用してください。 ・可使時間以内に後使用ください。 <p>塗料調合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>主剤:</th> <th>硬化剤:</th> <th>ソリッド シンナー希釈</th> <th>メタリック</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハイアート#3000</td> <td>100:</td> <td>25:</td> <td>40~60</td> <td>80~90</td> </tr> <tr> <td>ミラノ 2Kコモ</td> <td>100:</td> <td>20:</td> <td>30~50</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ミラノ 2K・M</td> <td>100:</td> <td></td> <td></td> <td>(80~150)</td> </tr> <tr> <td>AU-21</td> <td>100:</td> <td>10:</td> <td>40~60</td> <td>80~100</td> </tr> <tr> <td>ウレタ 88</td> <td>100:</td> <td>10:</td> <td>40~60</td> <td>80~100</td> </tr> <tr> <td>ユニアトロン</td> <td>100:</td> <td>5:</td> <td>60~90</td> <td>120~150</td> </tr> <tr> <td>ボカシ剤</td> <td>100:</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ミラノ 2K・M の場合はリアクターを使用ください。</p>		主剤:	硬化剤:	ソリッド シンナー希釈	メタリック	ハイアート#3000	100:	25:	40~60	80~90	ミラノ 2Kコモ	100:	20:	30~50		ミラノ 2K・M	100:			(80~150)	AU-21	100:	10:	40~60	80~100	ウレタ 88	100:	10:	40~60	80~100	ユニアトロン	100:	5:	60~90	120~150	ボカシ剤	100:	2			<p>ハイアート#3000 ミラノ 2K コモ AU-21 ウレタ 88 ユニアトロン ボカシ剤 専用硬化剤各種 専用シンナー各種 TC カラー原色 カラー工房 TB・P55 参照・カタログ</p>
	主剤:	硬化剤:	ソリッド シンナー希釈	メタリック																																						
ハイアート#3000	100:	25:	40~60	80~90																																						
ミラノ 2Kコモ	100:	20:	30~50																																							
ミラノ 2K・M	100:			(80~150)																																						
AU-21	100:	10:	40~60	80~100																																						
ウレタ 88	100:	10:	40~60	80~100																																						
ユニアトロン	100:	5:	60~90	120~150																																						
ボカシ剤	100:	2																																								
	<p>メタリック塗装</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗料調合は上記を参考にしてください。 ・メタリック塗装は、塗装条件により色相・メタリック感が異なりますので、ご注意願います。(シンナー・ガン設定など) ・ミラノ 2K・M の場合、作業性改善にはハイグラデーション又アンダーコンディショナーがあります。(カタログを参照ください) 	<p>ハイアート#3000 ミラノ 2Kリアクター・M AU-21 ウレタ 88 ユニアトロン ハイグラデーション アンダーコンディショナー ミキシングクリヤー TB・P55~65 参照・カタログ</p>																																								
3	<p>コートパール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下塗り色塗装は、各ソリッドをご使用ください。 ・パールベースは、パールベースコンク / 対応クリヤーを仕様の配合比で混合してください。 シンナー希釈は、通常 150%程度です。(カタログ参照) ・ボカシ塗装の場合、下塗り色とパールベースを混合します。 <ul style="list-style-type: none"> ①希釈下塗り色: 希釈パールベース = 50 : 50 ②①の残り塗料: 希釈パールベース = 5 : 95 ③希釈パールベース = 100 	<p>ハイアート#3000 ミラノ 2Kコモ ミラノ 2Kリアクター・M AU-21 ウレタ 88 ユニアトロン パールベースコンク ミキシングクリヤー ボカシ剤 TB・P112~115 参照 パールカタログ</p>																																								
2	<p>クリヤー塗装</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メタリック・パールに対応するクリヤーをご使用ください。 ・ソリッドの場合は、2コート使用のみ必要です。 ・硬化剤調合比は、右表示の調合です。 硬化剤は計量し正確に配合してください。 シンナー希釈については対応のシンナーをご使用ください ・塗装は通常 3 回塗りです。 捨て吹き→色決め→仕上げ塗装 ・塗装後、セッティングを取り強制乾燥を行ってください。 ※クリヤーカタログを参照ください。 	<p>ハイアート#3000 4:1 AU-21 10:1 ウレタ 88 10:1 ユニアトロン 10:1 ミラノ 2K・コモ 5:1 ミラノ 2K・MR 10:1 ミラノ 2K・HS 2:1 LV 2:1 ファイナル 2:1</p>																																								
3	<p>乾燥</p> <p>乾燥工程は、上塗り塗料・クリヤーにより異なります。 通常 60℃×30 分以上(種類・膜厚により異なります)</p>	<p>カタログ参照</p>																																								
4	<p>磨き</p> <p>ゴミ除去・肌合せ・ボカシ際処理をミラノコンパウンドなどで仕上げます。</p>	<p>ミラノコンパウンド プロコンパウンド・プロワックス TB・P66~68 参照</p>																																								
5	<p>仕上がり確認</p> <p>仕上がりに不備がないか確認いたします。 不備がある場合は手直ししてください。</p>																																									
6	<p>記録記入</p> <p>補修塗装記録台帳に、光沢値など必要事項を記入します。</p>																																									

※詳細な塗装条件はイサムテクニカルブック及びカタログを参考の上実施してください。

※特殊クリヤー塗装については、TB・P116~117 参照して下さい。

※その他塗料・添加剤の使用方法は、カタログを参照してください。

